※令和4年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　理　　科

教科	理科	科目	物理基礎 （中入理数以外）	単位数	2　単位	年次	2　年次
使用教科書	高等学校　物理基礎　（第一学習社）						
副教材等	新課程版　ネオパルノート　物理基礎　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本講座は、「総合学科中入理数系列の物理演習選択者以外」を対象としています。本時では、基本的に物理基礎の内容を講義形式で学習する予定です。場合によっては、演習問題にも取り組みます。
・授業用のノートについては、プリントなどの配付物を貼り付けて整理するようにしてください。また、板書を書き写すだけでなく、気づいたことなどをノートの枠外などに記入するようにしましょう。
・問題集用のノートを別途用意し、学習した単元については、日頃から積極的に問題に取り組むようにしてください。

2　学習の到達目標

(1)物理学が日常生活とどのように関連しているかを知り、エネルギーへの関心を高める。
(2)物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につける。
(3)目的意識をもって実験・観察を行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけ、科学的な考え方を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物理学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けるとともに、観察、実験などの基本操作を習得し、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	物理学的な事物・現象の中に問題を見いだし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら、物理学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探求しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	力と運動	◇物体の運動 ◇力のはたらきとつりあい ◇運動の法則	a:物体運動の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、知識を身につけ、探究するための実験の技能を身につけている。 b:物体運動がどの基本原理からきているのか推察し、文章や数式などで表現している。 c:物体運動の日常生活との関連について関心を高め、探究しようとしている。	定期考査 小テスト 実験レポート	定期考査 プリント	提出物
2	エネルギー	◇仕事と力学的エネルギー ◇熱とエネルギー	a:エネルギーの基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、知識を身につけ、探究するための実験の技能を身につけている。 b:エネルギーがどの基本原理からきているのか推察し、文章や数式などで表現している。 c:エネルギーの日常生活との関連について関心を高め、探究しようとしている。	定期考査 小テスト 実験レポート	定期考査 プリント	提出物
	波動	◇波の性質 ◇音波	a:波動現象の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、知識を身につけ、探究するための実験の技能を身につけている。 b:波動現象がどの基本原理からきているのか推察し、文章や数式などで表現している。 c:波動現象の日常生活との関連について関心を高め、探究しようとしている。	定期考査 小テスト 実験レポート	定期考査 プリント	提出物
3	電気	◇静電気と電流 ◇電流と磁場 ◇エネルギーとその利用	a:電気の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、知識を身につけ、探究するための実験の技能を身につけている。 b:電気がどの基本原理からきているのか推察し、文章や数式などで表現している。 c:電気の日常生活との関連について関心を高め、探究しようとしている。	定期考査 小テスト 実験レポート	定期考査 プリント	提出物

※　表中の観点について　　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度